

第25回 産業教育フェア

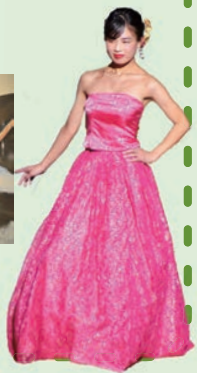
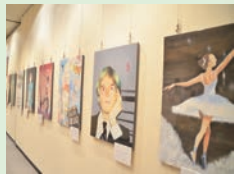
場所 マドカホール（荒木町1丁目）
問合 産業高校（☎422-4861）

産業高校の生徒が制作した作品の展示のほか、自作デザイン衣装のファッションショーを開催します。演出も生徒たちが行います。ぜひお立ち寄りください。入場無料です。有料駐車場には限りがあります。

展示 ▼商業科・情報科・商品開発クラブ紹介パネル
▼木工、陶芸、建築設計、服飾、染色、デザインパネル、映像作品など約120点

日時 1月18日(金)午前10時20分～午後5時
1月19日(土)午前9時～午後5時
1月20日(日)午前9時～午後1時、ファッションショー終了後～午後4時

生徒自作デザイン衣装ファッションショー
日時 1月20日(日)午後1時半～3時(午後1時開場)



ローズバスがリニューアル

問合 市街地整備課交通政策担当（☎423-9656）

2月1日(金)から、ローズバスのルートなどを変更します（認可申請中）。主な変更ポイントは下記です。

- ◎従来のルートを基に2つのルートを実行
- ◎増便し、毎時同分の運行でわかりやすく
- ◎バスロケーションシステムを導入し、スマートフォンなどで乗りたいバスの現在地や到着予想時刻がわかる

	変更前	変更後
ルート	1	2（北ループ、南ループ）
停留所数	33	27（廃止8、新設2）
便数	1日6便（反復12便）	各ループ1日8便（計16便）
ダイヤ	不規則	毎時同分
所要時間	約70分	北ループ43分 南ループ48分
運行日	月～土曜日	月～金曜日
運賃	大人100円、子ども50円	大人170円、子ども90円
乗継割引	なし	あり（ICカード利用時）
バスロケーションシステム	なし	あり

※ 詳しくは1月中旬頃から市民センターなどの施設に備え付けるパンフレットや市ホームページをご覧ください。



運行ルートや時刻表などはこちらから



消費生活講演会

安全な食品の選び方

～食品表示はここをチェック～

安全・安心な食品を選び、健康被害を防ぐために、食品表示のチェックポイントを専門家から学びましょう。

対象 市内在住・在勤者

日時 1月19日(土)午後2時～3時半

場所 産業会館（別所町3丁目）

講師 垣田達哉氏（食品問題評論家）

定員 50人（申込先着順）



イメージ写真

申込・問合 1月17日(木)までに電話またはファクスで消費生活センター（☎438・5281 FAX 439・5300）へ

彩誉

糖度コンテスト

生産者が、自ら栽培した「彩誉」の糖度を競い合うコンテストを行います。当日は搾りたての彩誉フレッシュジュースをふるまうほか、関連商品の販売や収穫体験も行います。

問合 農林水産課農林水産振興担当（☎423・9488）

日時 1月12日(土)午前11時～午後1時
場所 道の駅愛彩ランド（岸の丘町3丁目）



ヒト★イロ

FILE No.4

東谷 太さん（55歳 作才町）

特定非営利活動法人自立生活センター・いこら一理事長。泉州地域を障害のある人にとって住みやすいまちにしたいと、2012年、岸和田市内に「いこら一」を設立。相談事業やヘルパー派遣を行っている。趣味は釣り。



「ぼちぼちいこら一」。この言葉に込めた思い。

「あの頃の自分に、今ならこう言う。違う生き方ができるよ、と。」

障害のある人が、自分の好きな服を着て、自分の食べたものを食べ、生きたい場所で生きる。そのために必要な支援を行っている。

自身も19歳の時に事故で頸髄を損傷し、長く寝たがりの生活を送った。現在は車椅子での生活だ。当時のことを尋ねると、冒頭の言葉が返ってきた。

「障害があっても自立した生活ができる。その時の僕にはわからなかったし、知らなかったけど、今ならわかる。」

目指すのは、自分たちのような「自立支援センター」がなくなること。支援センターが必要なくなるほど、障害のある人が地域に溶け込んだ社会だ。

もらった名刺には、のんびり歩く丸く愛らしいキャラクターとともに「ぼちぼちいこら一」と記されている。「ぼちぼち」には2つの意味がある。ゆっくり。そして、そろそろ。障害があっても閉じこもらず、共にみんなと地域で生きて欲しい。

「そろそろいこら一」。一歩踏み出そうとする背中を、押す。